令和６年度第３回ジュニア・市政モニターアンケート結果

テーマ　「子どもの選挙啓発に求められる学習内容について」

（１）目　　的　　民主政治を進めるためには、その根幹である選挙への参加が重要ですが、近年は、特に若年層の投票率の低下が課題になっており、相模原市も例外ではありません。

今回の調査は、子ども自身の選挙や政治への意識や、投票率の向上に向けた考え、また、「選挙出前授業」など、現在本市が取り組む啓発事業の内容についての意見をお伺いし、若年層に向けた効果的な啓発活動を提供する上での基礎資料として活用するためにアンケートを実施したものです。

（２）回答者数　　１４０人

（３）調査期間　　令和６年１２月１２日（木）から令和７年１月１０日（金）まで

（４）結果要約　　問４では、令和６年の衆院選で家族と投票所に行った子どもは約 10%にとどまり、行かなかった子どもに理由を伺った問４－１の回答では、「興味が無いから」が最も多い結果となり、選挙権が無い現時点では選挙に興味が持ちづらい現実が分かりました。

その一方で、投票率が低下している状況についての考えを伺った問６では、何らかの対策の必要性を感じている子どもが 75%で、大半の子どもが、大人が投票に行かない現状には高い問題意識を持っていることが分かりました。

問８から問 10 では、選挙に関する学びへの関心について伺いましたが、選挙出前授業で学びたいこととして、選挙のしくみや投票のしかたなどについての関心が高いことが分かり、また、楽しく学べる内容を伺った設問では、実際の投票の体験や、選挙や政治を題材にした友達との話し合いなど、座学よりも活動を通じた学びが求められていることが分かりました。

また、日常的に情報を得ている媒体について伺った問 11 では、ＳＮＳと答えた人がテレビとほぼ同等の 70%近くにのぼるほか、動画サイトも 40%以上となっており、若年層向けの啓発には、今後ますますＳＮＳ等の活用が不可欠であることが示唆される結果となりました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表し、小数点第２位を四捨五入しているため、百分率の合計が１００%にならない場合があります。

※問 16～問 26 の「人権に対する意識や考えについて」は別途掲載します。

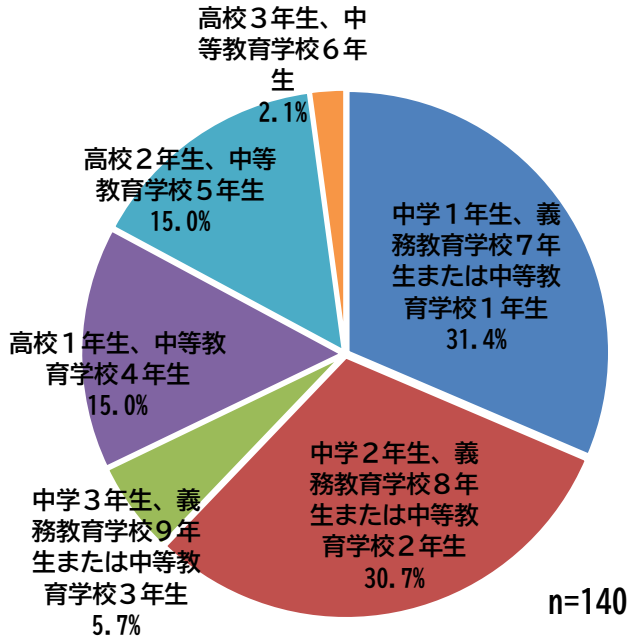
調査結果

【基本的項目について】

【問１】あなたの学年をお答えください。（○は１つ）

1	中学１年生、義務教育学校７年生または中等教育学校１年生
2	中学２年生、義務教育学校８年生または中等教育学校２年生
3	中学３年生、義務教育学校９年生または中等教育学校３年生
4	高校１年生、中等教育学校４年生
5	高校２年生、中等教育学校５年生
6	高校３年生、中等教育学校６年生

選択肢	回答数	回答分布
中学１年生、義務教育学校７年生または中等教育学校１年生	44	31.4%
中学２年生、義務教育学校８年生または中等教育学校２年生	43	30.7%
中学３年生、義務教育学校９年生または中等教育学校３年生	8	5.7%
高校１年生、中等教育学校４年生	21	15.0%
高校２年生、中等教育学校５年生	21	15.0%
高校３年生、中等教育学校６年生	3	2.1%
計	140	100.0%

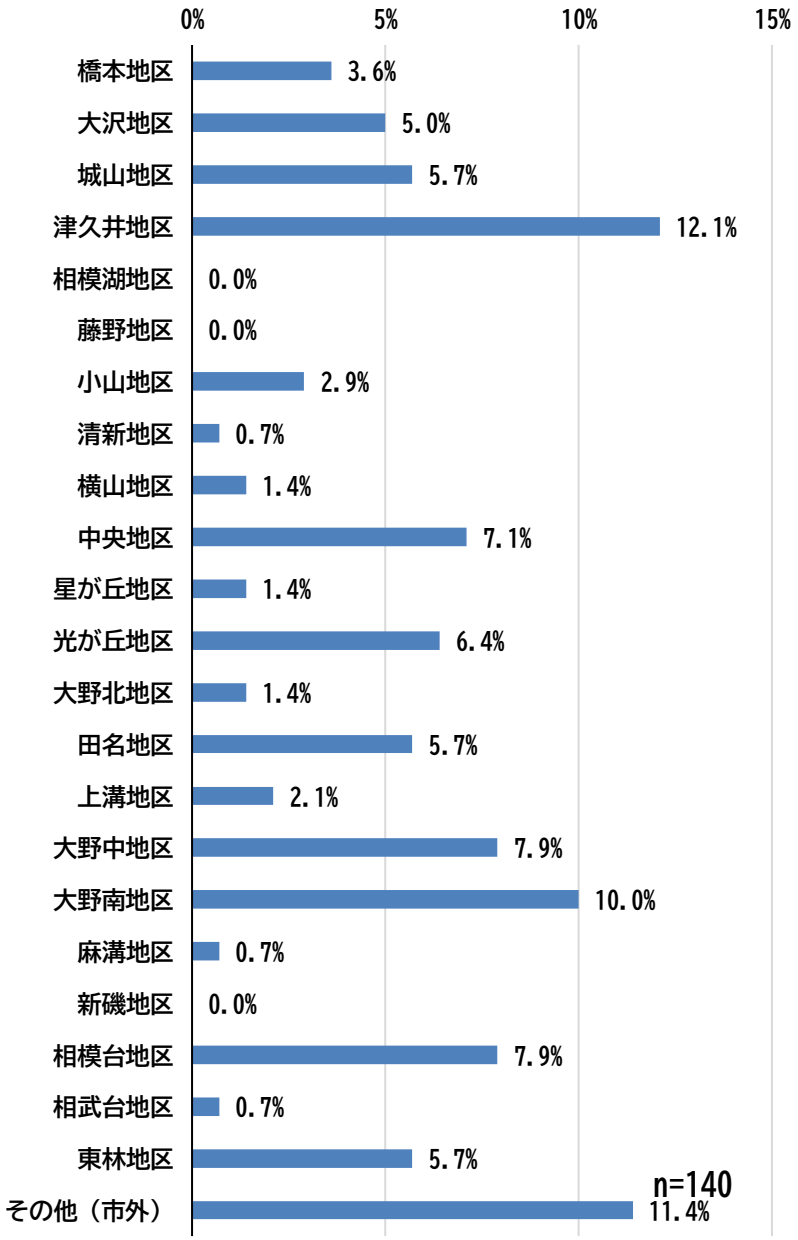


☆ 回答された方の学年は以上のとおりです。

【問２】あなたのお住まいの地区をお答えください。（○は１つ）

【緑区】	【中央区】	【南区】	【その他】
1　橋本地区	7　小山地区	16　大野中地区	23　その他（市外）
2　大沢地区	8　清新地区	17　大野南地区	
3　城山地区	9　横山地区	18　麻溝地区	
4　津久井地区	10　中央地区	19　新磯地区	
5　相模湖地区	11　星が丘地区	20　相模台地区	
6　藤野地区	12　光が丘地区	21　相武台地区	
	13　大野北地区	22　東林地区	
	14　田名地区		
	15　上溝地区		

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	5	3.6%
大沢地区	7	5.0%
城山地区	8	5.7%
津久井地区	17	12.1%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	0	0.0%
小山地区	4	2.9%
清新地区	1	0.7%
横山地区	2	1.4%
中央地区	10	7.1%
星が丘地区	2	1.4%
光が丘地区	9	6.4%
大野北地区	2	1.4%
田名地区	8	5.7%
上溝地区	3	2.1%
大野中地区	11	7.9%
大野南地区	14	10.0%
麻溝地区	1	0.7%
新磯地区	0	0.0%
相模台地区	11	7.9%
相武台地区	1	0.7%
東林地区	8	5.7%
その他(市外)	16	11.4%
計	140	100.0%

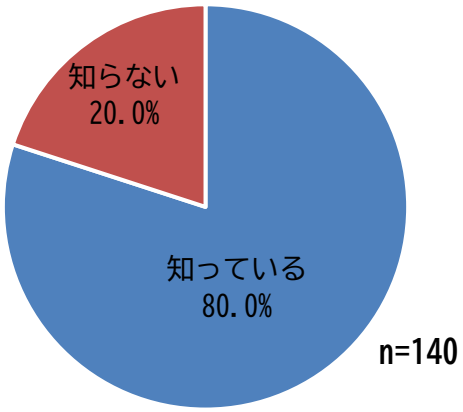


☆　回答状況は以上のとおりです。

【問３】　あなたは令和６年 10 月 27 日に衆議院議員総選挙が行われたことを知っていますか。
（○は１つ）

１　知っている	２　知らない

選択肢	回答数	回答割合
知っている	112	80.0%
知らない	28	20.0%
計	140	100.0%

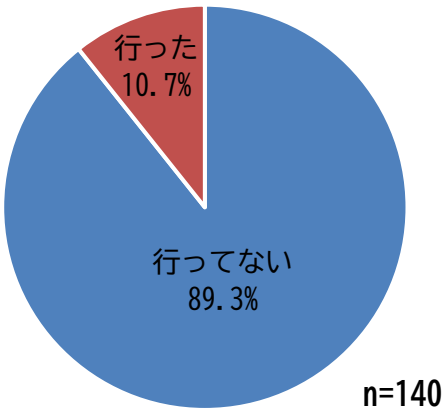


☆　「知っている」が 80.0%、「知らない」が 20.0%という結果になりました。

【問４】　あなたは、今回の選挙にご家族（保護者など）の方と一緒に投票所に行きましたか。
（○は１つ）

１　行ってない（⇒問４－１へ）
２　行った

選択肢	回答数	回答割合
行ってない	125	89.3%
行った	15	10.7%
計	140	100.0%



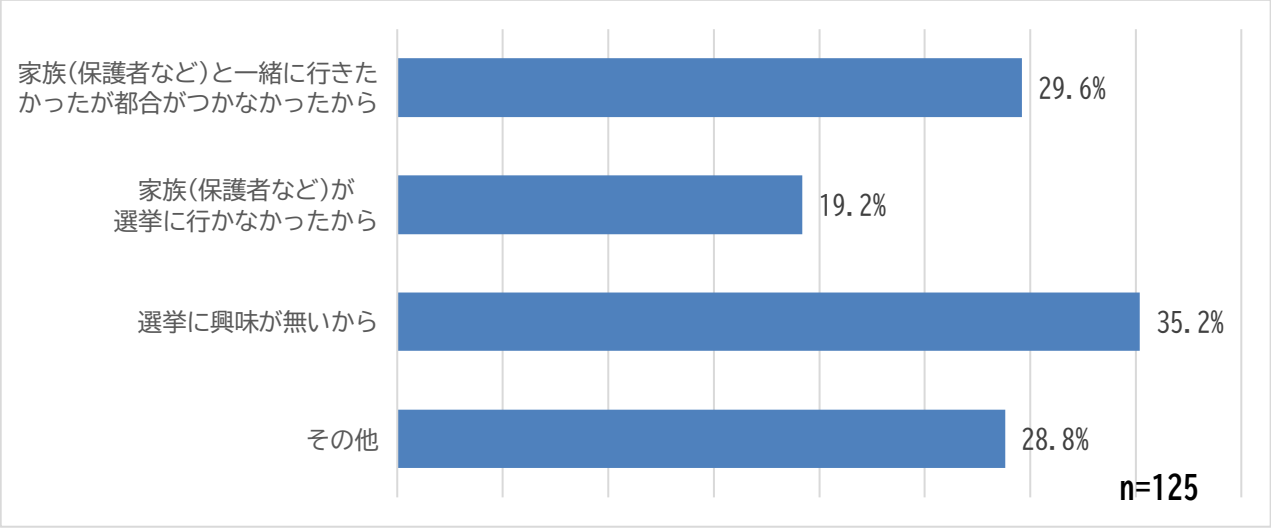
☆　「行ってない」が 89.3%、「行った」が 10.7%という結果になりました。

《問４で「１」とお答えの方へ》

【問４－１】　あなたが、今回の選挙で、ご家族（保護者など）の方と一緒に投票所に行かなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	家族(保護者など)と一緒に行きたかったが都合がつかなかったから
2	家族(保護者など)が選挙に行かなかったから
3	選挙に興味が無いから
4	その他(具体的に：　)

選択肢	回答数	回答割合
家族(保護者など)と一緒に行きたかったが都合がつかなかったから	37	29.6%
家族(保護者など)が選挙に行かなかったから	24	19.2%
選挙に興味が無いから	44	35.2%
その他	36	28.8%



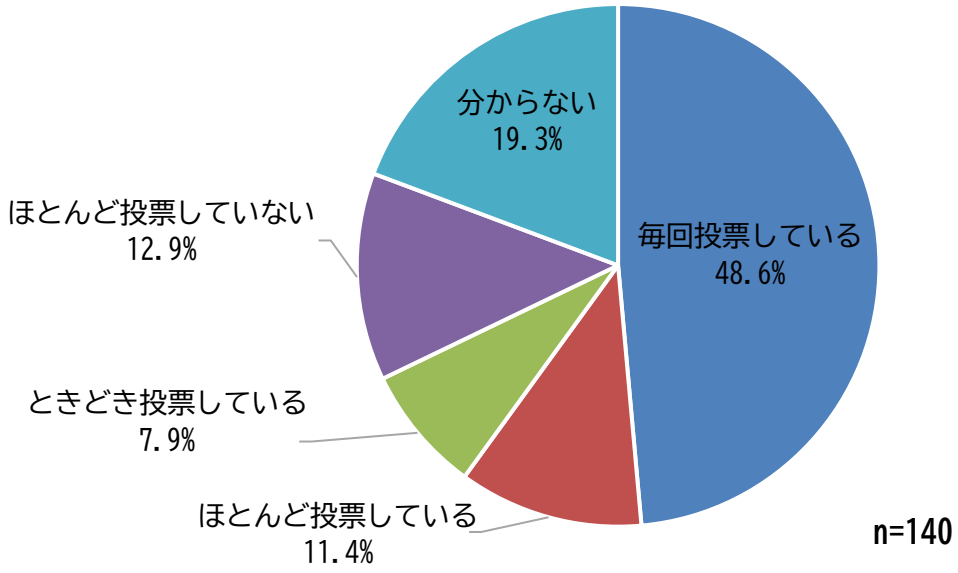
《その他の内訳》
・選挙権がないから(11人)
・自分がいない間に家族が投票しに行っていたから(3人)
・投票する人以外も行ってよいことを知らなかった(3人)
・いつやっているか知らなかったから(2人)
・家族が投票したかわからない(2人)
・勉強があったから(2人)
・いつも保護者だけで行っているから
・習い事があったから
・めんどくさかったから　　等

☆　「選挙に興味が無いから」が 35.2%で最も多く、次いで「家族と一緒に行きたかったが都合がつかなかったから」が 29.6%、「その他」が 28.8%、「家族が選挙に行かなかったから」が 19.2%という結果になりました。「その他」中では選挙権が無いためという理由が最も多い回答となりました。

【問５】　あなたの家族（保護者など）は毎回の選挙で投票をしていますか。（○は１つ）

1	毎回投票している
2	ほとんど投票している
3	ときどき投票している
4	ほとんど投票していない
5	分からない

選択肢	回答数	回答割合
毎回投票している	68	48.6%
ほとんど投票している	16	11.4%
ときどき投票している	11	7.9%
ほとんど投票していない	18	12.9%
分からない	27	19.3%
計	140	100.0%

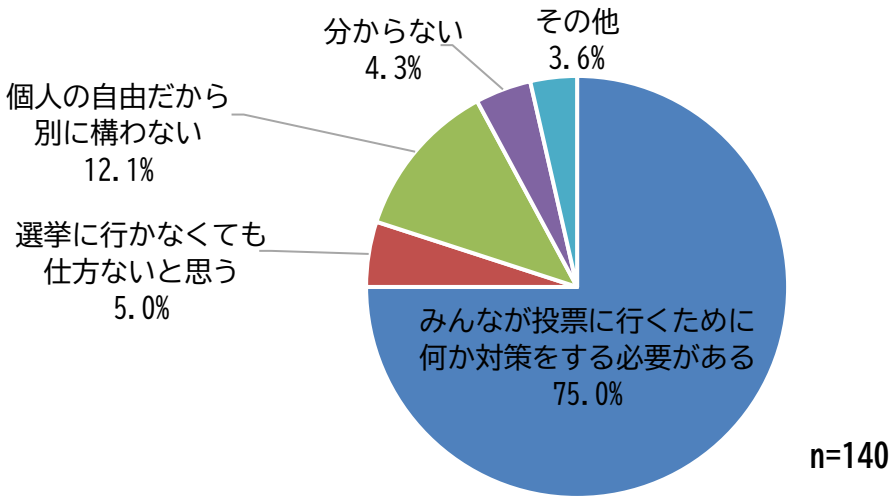


☆　「毎回投票している」が 48.6%で最も多く、次いで「分からない」が 19.3%、「ほとんど投票していない」が 12.9%、「ほとんど投票している」が 11.4%、「ときどき投票している」が 7.9%という結果になりました。

【問６】　今回の衆議院議員総選挙では、選挙に行く人の割合が下がっていますが、どう思いますか。
（○は１つ）

1	みんなが投票に行くために何か対策をする必要がある
2	選挙に行かなくても仕方ないと思う
3	個人の自由だから別に構わない
4	分からない
5	その他（具体的に：　）

選択肢	回答数	回答割合
みんなが投票に行くために何か対策をする必要がある	105	75.0%
選挙に行かなくても仕方ないと思う	7	5.0%
個人の自由だから別に構わない	17	12.1%
分からない	6	4.3%
その他	5	3.6%
計	140	100.0%



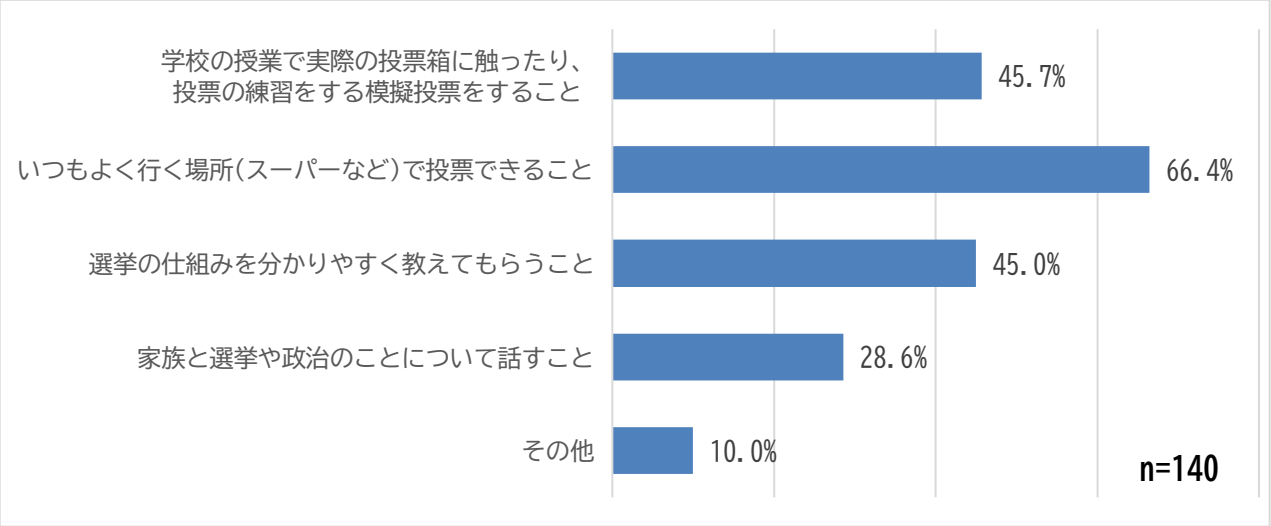
《その他の内訳》
・選挙に行くことよりも、投票する人を決めるために情報を集めるのが面倒なのではないかと感じた
・国民のことをなにも考えない政治家がいるので、その人達を当選させないために投票は必要だと思う
・若者の政治への関心度を高める必要があると思う
・自分の一票で国が良くならないと考えている人が多く、政治不信があるため、投票しても意味がない
・選挙に行かない人はまず行くメリットを知らないから選挙に行く人の割合が下がっていると思う　等

☆　「みんなが投票に行くために何か対策をする必要がある」が 75.0%で最も多く、次いで「個人の自由だから別に構わない」が 12.1%、「選挙に行かなくても仕方ないと思う」が 5.0%、「分からない」が 4.3%という結果になりました。

【問７】　選挙に興味を持つために効果的な方法はどれだと思いますか。（○はいくつでも）

1　学校の授業で実際の投票箱に触ったり、投票の練習をする模擬投票をすること
2　いつもよく行く場所（スーパーなど）で投票できること
3　選挙の仕組みを分かりやすく教えてもらうこと
4　家族と選挙や政治のことについて話すこと
5　その他（具体的に：　）

選択肢	回答数	回答割合
学校の授業で実際の投票箱に触ったり、投票の練習をする模擬投票をすること	64	45.7%
いつもよく行く場所（スーパーなど）で投票できること	93	66.4%
選挙の仕組みを分かりやすく教えてもらうこと	63	45.0%
家族と選挙や政治のことについて話すこと	40	28.6%
その他	14	10.0%



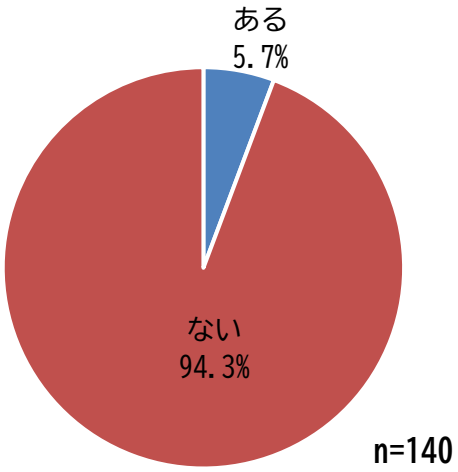
《その他の内訳》
・よく行く場所(スーパーなど)で投票の呼びかけを行ったり、投票についてのポスター等を貼ること
・インターネット投票を可能にすること
・誰にでも伝わる、わかりやすい表現での政策や取り組みを、わかりやすい場所に提示すること
・政治のエンタメ化(若者が興味を持たずにはいられないような政治家が必要)
・SNS で選挙情報などを発信したり、Youtube などで選挙に行く大切さなどを CM に流すこと
・投票したらクーポン券がもらえるようにすること
・各政党がどのような政策をするかを分かりやすくすること
・選挙に行くと政治がどう変わるのか、生活にどのように関わっていくのかを伝え、一票の重さを伝える
・選挙のニュースの見方を授業で教えてもらえること
・選挙期間を延ばすこと　　等

☆　「いつもよく行く場所(スーパーなど)で投票できること」が 66.4%で最も多く、次いで「学校の授業で実際の投票箱に触ったり、投票の練習をする模擬投票をすること」が 45.7%、「選挙の仕組みを分かりやすく教えてもらうこと」が 45.0%、「家族と選挙や政治のことについて話すこと」が 28.6%という結果になりました。

【問８】　相模原市選挙課では、市の職員が学校を訪問し、市内の小・中学生または高校生を対象に、選挙について学んでもらう「選挙出前授業」を行っています。あなたは、この「選挙出前授業」を受けたことはありますか。（○は１つ）

１　ある	２　ない

選択肢	回答数	回答割合
ある	8	5.7%
ない	132	94.3%
計	140	100.0%

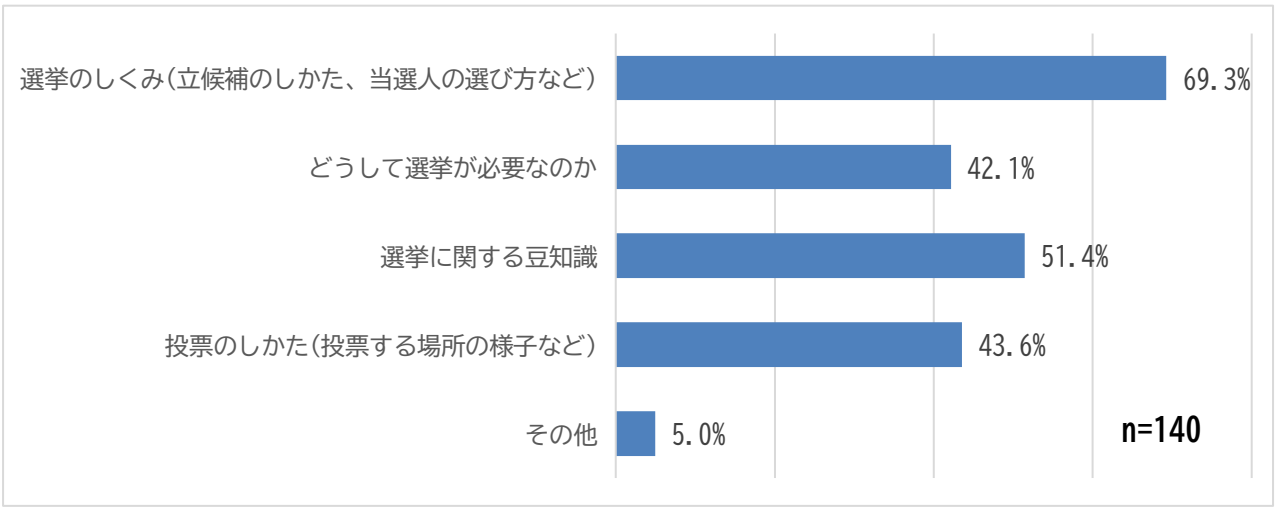


☆　「ない」が 94.3%、「ある」が 5.7%という結果になりました。

【問９】　今後、選挙出前授業を受けるとしたら、どのようなことを学びたいですか。既に受けたことがある場合は、もう一度受けるとしたらどのようなことを学びたいですか。（○はいくつでも）

１	選挙のしくみ（立候補のしかた、当選人の選び方など）
２	どうして選挙が必要なのか
３	選挙に関する豆知識
４	投票のしかた（投票する場所の様子など）
５	その他（　　）

選択肢	回答数	回答割合
選挙のしくみ（立候補のしかた、当選人の選び方など）	97	69.3%
どうして選挙が必要なのか	59	42.1%
選挙に関する豆知識	72	51.4%
投票のしかた（投票する場所の様子など）	61	43.6%
その他	7	5.0%



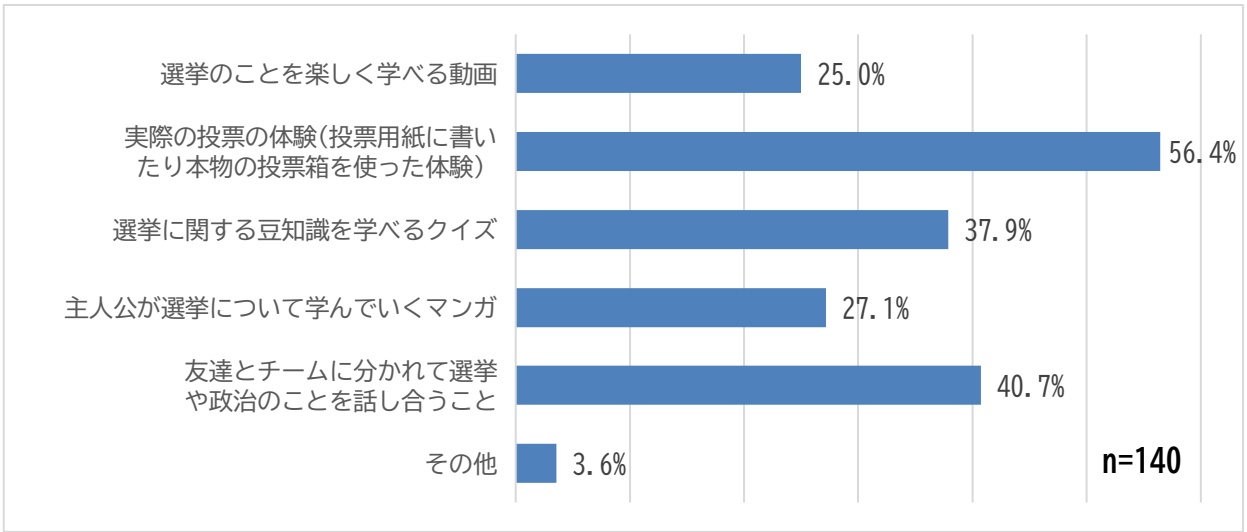
《その他の内訳》
・今の日本のダメな点
・立候補する人はどのように演説するのか
・政党をどうやって選べばいいかに関すること
・日本の選挙と他の国の選挙に違い
・選挙のルール、実際に起きた不正など日本の選挙の実態　　等

☆　「選挙のしくみ(立候補のしかた、当選人の選び方など)」が 69.3%で最も多く、次いで「選挙に関する豆知識」が 51.4%、「投票のしかた(投票する場所の様子など)」が 43.6%、「どうして選挙が必要なのか」が 42.1%という結果になりました。

【問 10】　あなたが選挙について楽しく学べると思うものは何ですか。(○はいくつでも)

1　選挙のことを楽しく学べる動画
2　実際の投票の体験(投票用紙に書いたり本物の投票箱を使った体験)
3　選挙に関する豆知識を学べるクイズ
4　主人公が選挙について学んでいくマンガ
5　友達とチームに分かれて選挙や政治のことを話し合うこと
6　その他(　　)

選択肢	回答数	回答割合
選挙のことを楽しく学べる動画	35	25.0%
実際の投票の体験(投票用紙に書いたり本物の投票箱を使った体験)	79	56.4%
選挙に関する豆知識を学べるクイズ	53	37.9%
主人公が選挙について学んでいくマンガ	38	27.1%
友達とチームに分かれて選挙や政治のことを話し合うこと	57	40.7%
その他	5	3.6%



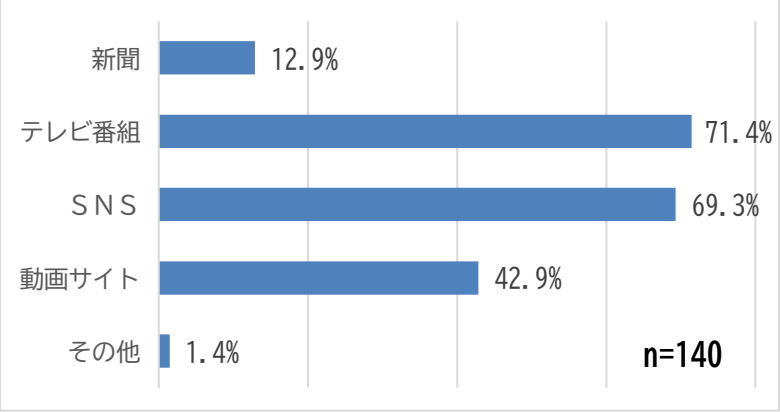
《その他の内訳》
・公約など様々な情報から誰に投票するか決める推理ゲーム
・当選するために活動していくシュミレーションゲーム
・街を創るという観点と、選挙を織り交ぜたシンプルなミニゲーム
・劇や映画　　等

☆　「実際の投票の体験（投票用紙に書いたり本物の投票箱を使った体験）」が 56.4%で最も多く、次いで「友達とチームに分かれて選挙や政治のことを話し合うこと」が 40.7%、「選挙に関する豆知識を学べるクイズ」が 37.9%、「主人公が選挙について学んでいくマンガ」が 27.1%、「選挙のことを楽しく学べる動画」が 25.0%という結果になりました。

【問 11】　あなたは、日ごろ、どの媒体によって情報を得ていますか。（○はいくつでも）

1　新聞
2　テレビ番組（具体的にあれば：　）
3　SNS（具体的にあれば：　）
4　動画サイト（具体的にあれば：　）
5　その他（具体的にあれば：　）

選択肢	回答数	回答割合
新聞	18	12.9%
テレビ番組	100	71.4%
ＳＮＳ	97	69.3%
動画サイト	60	42.9%
その他	2	1.4%



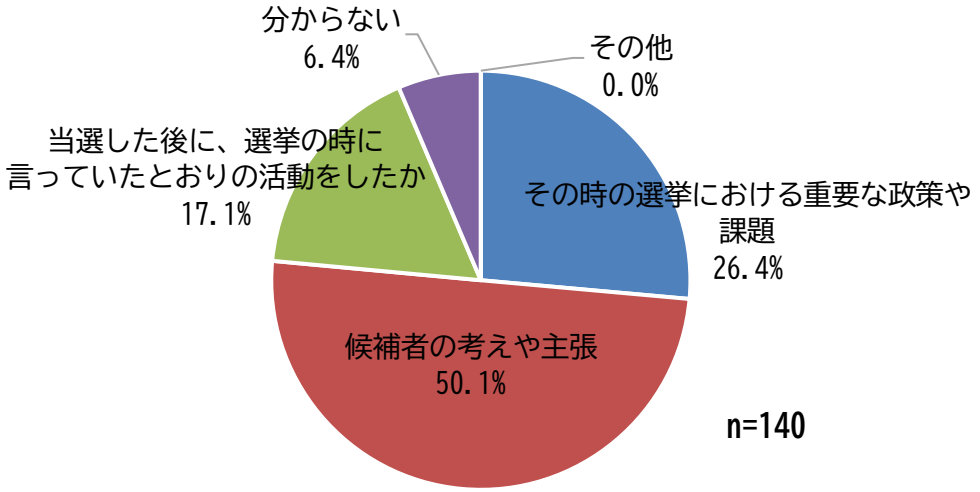
《テレビ番組の内訳》
　・ニュース番組（63人）　・情報番組（9人）　・バラエティ番組　・クイズ番組
《SNSの内訳》
　・X（13人）　・Instagram（11人）　・LINE ニュース（6人）
《動画サイトの内訳》
　・YouTube（27人）　・TikTok（10人）
《その他の内訳》
　・ラジオ　・親

☆　「テレビ番組」が 71.4%で最も多く、次いで「ＳＮＳ」が 69.3%、「動画サイト」が 42.9%、「新聞」が 12.9%という結果になりました。

【問 12】　あなたは、将来、18 歳（選挙に行ける年齢）になって、投票に行く場合、何に注目しますか。
（○は１つ）

1	その時の選挙における重要な政策や課題
2	候補者の考えや主張
3	当選した後に、選挙の時に言っていたとおりの活動をしたか
4	分からない
5	その他（具体的に：　　）

選択肢	回答数	回答割合
その時の選挙における重要な政策や課題	37	26.4%
候補者の考えや主張	70	50.0%
当選した後に、選挙の時に言っていたとおりの活動をしたか	24	17.1%
分からない	9	6.4%
その他	0	0.0%
計	140	100.0%

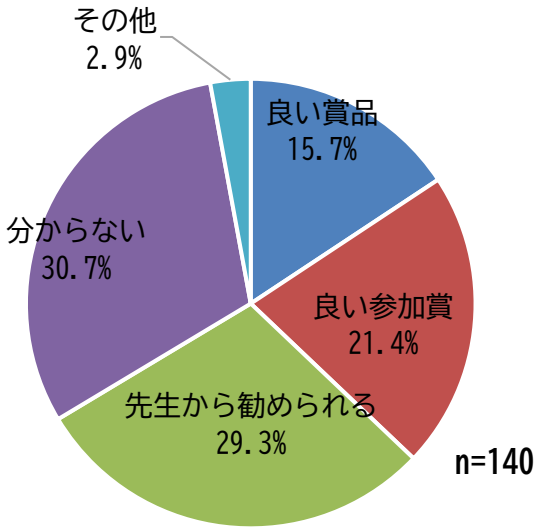


☆　「候補者の考えや主張」が 50.0%で最も多く、次いで「その時の選挙における重要な政策や課題」が 26.4%、「当選した後に、選挙の時に言っていたとおりの活動をしたか」が 17.1%、「分からない」が 6.4%という結果になりました。

【問 13】　相模原市では、毎年、明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しています。あなたは、どのようなきっかけがあれば参加したいと思いますか。（○は１つ）

1　良い賞品（具体的にあれば：　）
2　良い参加賞（具体的にあれば：　）
3　先生から勧められる
4　分からない
5　その他（具体的に：　）

選択肢	回答数	回答割合
良い賞品	22	15.7%
良い参加賞	30	21.4%
先生から勧められる	41	29.3%
分からない	43	30.7%
その他	4	2.9%
計	140	100.0%



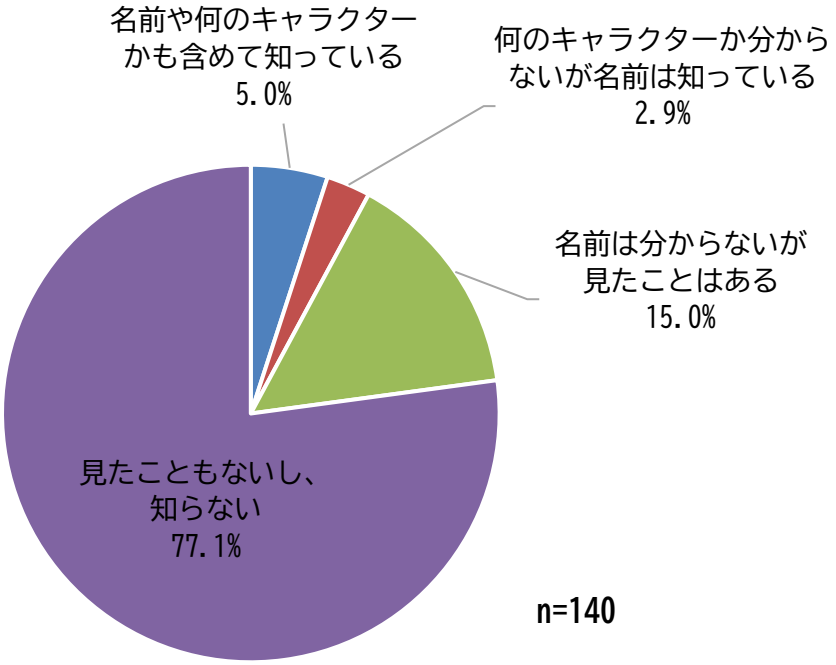
《良い賞品の内訳》
・図書カード（6人）　・賞金（5人）　・QUO カード（3人）　・ギフト券　・サービス券　・日用品
・選挙に関連性のあるペン類　　・電子機器　　等
《良い参加賞の内訳》
・鉛筆・ペン（5人）　・文房具（3人）・お菓子（3人）・QUO カード（2人）　・図書カード　・金券
・クリアファイル　　・ブックカバー　・おもちゃ　　・日用品　　等
《その他の内訳》
・学校で夏休みの自由研究の項目に載せること
・先生からみんなへ紹介すること
・学校全体で取り組むようにすること　　等

☆　「分からない」が 30.7%で最も多く、次いで「先生から勧められる」が 29.3%、「良い参加賞」が 21.4%、「良い賞品」が 15.7%という結果になりました。

【問 14】　相模原市には投票率が「アップ」するように願いが込められ誕生した選挙キャラクター「アップくん」がいます。あなたは「アップくん」を知っていますか。（○は１つ）

1	名前や何のキャラクターかも含めて知っている
2	何のキャラクターか分からないが名前は知っている
3	名前は分からないが見たことはある
4	見たこともないし、知らない

選択肢	回答数	回答割合
名前や何のキャラクターかも含めて知っている	7	5.0%
何のキャラクターか分からないが名前は知っている	4	2.9%
名前は分からないが見たことはある	21	15.0%
見たこともないし、知らない	108	77.1%
計	140	100.0%



☆　「見たこともないし、知らない」が 77.1%で最も多く、次いで「名前は分からないが見たことはある」が 15.0%、「名前や何のキャラクターかも含めて知っている」が 5.0%、「何のキャラクターか分からないが名前は知っている」が 2.9%という結果になりました。

【問 15】　選挙に関してご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

（多数いただいた回答から抜粋して掲載。）

投票率を上げるための取り組みがなんかズレてる気がします。
若者の興味を引くためには、アナログだけでなく、SNS 等の広告で拡散すると良いと思います。
政治をつくるのは自分たちだから、自分たちが選挙に行かないと始まらないという意識をもっと持ってもらうべきだと思う。
18 歳になったら選挙に行こうと思っています。
ちゃんと選挙の立候補者の意見を聞き、しっかりと真面目に投票する人が増えるように、中学校や高校までに選挙の大切さや重要性を学ぶ場を作ったほうが良いと思う。
自分が投票所に行ってもすることがないため、投票所に行くことがなく、いざ投票する年齢になっても、あまりピンと来ない部分があるのではないかと思っています。投票所がより身近な存在のものになれば変わるのではないかと思います。
もっと行きやすい場所で行ったほうがいいと思う。
ネットを使ったりすれば楽になって選挙に投票する人も増えるのかなと思った。けど、ネットの仕組みを悪用する人もでるだろうから、そこも適切に対処しなければならないなと思った。
未成年の意見も聞いて欲しい。
子どもが親と選挙に行くきっかけは、ほとんど無いと感じている。
選挙に行く人が少ないとどうなってしまうかを広めてほしい。
選挙の良さや面白さなどを知れば若い世代の方々も選挙に興味を持つのではないかと思います。
中学生にとっても選挙が身近なものになればいいなと思いました。
私の中では「大人が参加するもの」という印象が強くてそんなに興味がわかないって感じがします。もっとみんなが興味を持てるように少しエンタメ性を混ぜて見てほしいです。
ネット上での投票ができるようになれば投票率が上がると思う。
知識がないからただ難しいという印象。
大人として、毎年行って当たり前だと思います。
選挙の仕組みなどについては親から聞く程度で、詳しくなく、もっと知りたいと思った。学ぶ機会があれば、学びたい人は多いと思うので、重要性について更に訴えていくと良いと思う。
立候補者が選挙と向き合うにあたって、何を考えているのかより様々な媒体を用いて発信していくことを推奨していくべきだと考える。
選挙に行く人が年々少なくなってしまっているのは選挙に出ている人への信頼が足りないからだと思うから、もっと選挙で言っていたことを実行することで信頼性が上がると思う。
子どもが選挙について知る出来事や教育が少ない。
政治についての情報の発信は、若者がよく見る SNS や Youtube の CM などを使っていくと良いと思います。私も、Youtube で見た政治に関する CM で初めて知ったことがあり、関心を持ちました。
現在の政治の状況が簡単にわかるシステムがほしい。
学校の授業で友達と政治家の意見について話し合ったことで選挙に行こうと思えたので、そのような活動を増やしたら投票率も上がると思います。
後 10 年もたたない間に選挙に関わることができるようになりますが、選挙についての抽象的なイメージしかなく、具体的なイメージが持てないので、選挙に関する取り組みを増やしてほしいと思います。

もっと若者が選挙に興味持てるような工夫してください。
自分が成人したら家族で行きたいなと思います。
政見放送などを観ていると、たまに、ふざけているような主張をする人がいるので、このような条件を満たしていないと立候補できないなどの決まりを作る必要があると思う。
投票の体験ができる企画や政治に関わる機会がもっとあると良いと思います。
行った方がいいと分かっていても離れたとこまで行くのが面倒くさい。ネットで投票できる環境が整ってるといいかもしれない。
未成年は選挙が出来ないので、別の方法で意見を聞いて欲しい。
「若者世代でも選挙を身近に感じれるようにネット上でも選挙ができるようにした方が良いと思う」という意見がある一方で、中々ネット上で選挙がされていないのはどうしてか知りたいです。
難しい文章が多いため子ども向けのものを作って子どもにも分かりやすくして欲しい。
街頭演説などを見かけるが、長時間滞在できるわけではないので、YouTube、インスタ、TikTok などを使った討論会を行い、TV や学校で紹介すれば投票に行く人が増えるのではないかと思った。
よく知らないから行かないというのをなくしていかなければならない。
もっと、幅広い年代の人が興味を引けるような詳しい選挙の話を義務教育などから学んでいくことが必要だと思います。
選挙について詳しい方が学校を訪問してクイズをしたりすると効果的だと思います。
私も選挙権を得たら行きたいと思っています。「国民の中心となる人」という選挙の意味を、選挙にあまりいかない人にも理解してもらうことが大切だと思いました。
出前授業などを通して選挙にはどんな良さがあったのかなどプラスのことを教えてもらえると未来や将来１８歳のときの事をイメージしやすくなると考えます。

今後の活用

今回のアンケートでは、未来を担う子どもたちから、政治や選挙に対する興味や、投票率が低いことに対する考えやその改善に向けた意見等、大変貴重な回答を得ることが出来ました。

こうした子どもたちが、将来有権者になった時に政治に興味を持ち、選挙に行ってもらえるような社会になることを目指して、啓発内容や方法を検討する際の参考資料として、今回の結果を活用してまいります。

「子どもの選挙啓発に求められる学習内容について」に関するお問合せは、こちらへお願いいたします。
相模原市　行政委員会事務局　選挙課
電話　042-769-8290（直通）
〒252-5277　相模原市中央区富士見６-６-２３　けやき会館４階